

2019年5月27日
株式会社 PIVOT

報道関係者各位

デザイン&アプリケーション開発の PIVOT

「ぴあ」スマートフォンアプリを開発

～既存メディアのデジタルトランスフォーメーション、実現の3つの鍵～

デジタルツールの企画～構築・運営、アプリケーション開発を行う株式会社 PIVOT(所在地：東京都港区、代表取締役社長：宮崎 泰成、以下 PIVOT)は、2018年11月29日(木)に本創刊をしたスマートフォンアプリ「ぴあ」の開発を担い、創刊後もアプリユーザー(以下 ぴあニスト)の体験をよりよい形へ改善する取り組みを続けています。創刊後6カ月間の運用も踏まえ、既存メディアのデジタルトランスフォーメーション(以下 DX)の実現の3つの鍵についてレビューします。

● “超つかえるエンタメアプリ” 「ぴあ」 iOS・Android アプリ開発



● DX 実現の鍵① 「ぴあ」復活&再誕生への「思い」を形にする

「ぴあ」は、ぴあ株式会社の代表取締役社長である矢内廣氏が、大学在学中の1972年7月に仲間とともに誕生させた情報誌です。エンタテインメント(以下、エンタメ)情報誌のパイオニアとして、熱烈なファンをもち、常に時代の最先端で“文化・街歩きの道しるべ”となり時代を彩って来ました。2011年に休刊しましたが、急速かつ常に変化するエンタメ業界で、同社が目指す「感動のライフライン」を構築するための一つの重要な要素としても「ぴあ」の復活は必然の流れでした。

新たに創刊した「ぴあ」は、誰もが知っている雑誌だった「ぴあ」を、デジタルメディアとして、とことん使いやすくしたスマートフォンアプリです。「ぴあ」ならではのエンタメ情報において、ジャンルや分野を横断しての“偶然の出会いと発見”を再び提供することを目指しました。また、「アプリだからこそできることの実現」、ぴあニストそれぞれの楽しみ方に合わせてカスタマイズできるという「つかいやすさ」にこだわりました。いちユーザーでもある開発担当者たちが、「自分たちが本当に使いたいもの」をユーザー当事者になりきって作ったプロダクトです。

● DX 実現の鍵② 緻密なコミュニケーションと規律を構築できる体制

開発にあたっては、当社とサーバサイド・CMSの開発を担当するウルシステムズ株式会社が一つのチームとなり、2週間ごとに機能のアップデートを行うアジャイル開発を採用。プロダクトオーナーや関係者の方がアップデートごとに実際にアプリに触っていただくことで、サービスのバリュー検証から新しい課題の発見、それらを改善していくことでユーザー体験の向上を具現化していきました。コミュニケーション面では、デザインチーム、開発チーム、編集部など多くの関係者がいる中、slackやGoogle Drive、オンラインプロトタイピングツールを導入し、環境面のハードルをフォローしながらプロジェクトを運営しています。

また、クライアントのご担当者様が、企画・デザイン・開発・運用に必要なすべてのプロセスにコミットメントいただき、プロダクトオーナーとしてあらゆる意思決定を迅速に行っていただけたことで、チーム全体がひとつの方向を向いて本創刊を実現させることができました。

クライアント	ぴあ株式会社
開発パートナー	ウルシステムズ株式会社
デザイン・ iOS・Android アプリ開発	株式会社 PIVOT

< 当社の担当範囲は以下の通りです >

プロジェクトマネジメント / アートディレクション / テクニカルディレクション / プロトタイピング / インターフェースデザイン / iOS・Android 開発 / テストプランニング

● DX 実現の鍵③ beta 版(6 月末リリース)と本創刊(11 月末リリース)のモックアップの大幅変更を実現

アジャイル開発、スクラム、それ自体は珍しいことではなく、スピーディーにスクラップアンドビルドを繰り返しながら開発を行う手法ですが、一度作ったものを壊すことはなかなか難易度が高く、少しの修正になるケースが多いのが実情です。しかし、今回の開発では、デザイン上のモック作成担当と、開発の担当が同じチームの中において、プロジェクトを横断的にコントロールできるため、認識合わせがスムーズで、途中のダイナミックな変更も実現できたと考えています。




初期プロトタイプから、本創刊時のモックサンプルの変化事例

「偶然との出会い」というコンセプトと、ユーザーの「意思を持って選択したい」という思いをデザインに反映しました。

ぴあ株式会社 特許出願中の新しいナビゲーション機能に関して

なお、以下の通り、画面遷移における新しいナビゲーション機能について、ぴあ株式会社様より特許出願中です。当社としましては、クライアントが実現したい事柄をお聞きして、デザインと技術の側面からサポートさせていただきました。



【特許出願済】

「ぴあ」(アプリ)では、画面遷移における新しいナビゲーション機能について、特許出願を済ませています。複数のメニューアイコンを横スライドさせることで、まるでチャンネルを切り替えるように、自動的にそのアイコンのメニューが表示される仕組み(UI)を独自に開発。それにより、アプリ内の豊富な機能・コンテンツを親指ひとつでサクサク直観的に切り替えて楽しむことができる独自のUX(体験)を実現しています。

出典 ぴあ株式会社プレスリリースより抜粋

<https://corporate.pia.jp/news/files/【ぴあ】アプリ本創刊 20181129.pdf>

会社概要

社名	株式会社 PIVOT
代表	代表取締役社長 宮崎 泰成
東京オフィス	東京都港区北青山 2-12-31 第三イノセビル 3階
福岡オフィス	福岡県福岡市中央区薬院 1-11-14
Ho Chi Minh Office	Room 16, Hall 8, Quang Trung Software City, Tan Chanh Hiep Ward, District 12, Ho Chi Minh City, Vietnam
設立	2000年11月15日
コーポレートサイト	https://pivot.jp
事業内容	ウェブサイト構築・運営支援/アプリ制作/インタラクティブコンテンツ開発/ユーザーエクスペリエンスデザイン/システム開発/印刷情報媒体の企画・編集・制作
実績等	「ビジネス+IT」Webサイトフルリニューアルプロジェクト(SBクリエイティブ株式会社様) / "グランビスタ ホテル&リゾート Web マガジン"「GRANVISTA PRESS」Web構築プロジェクト(株式会社グランビスタ ホテル&リゾート様) / 確実簡単なスマホ・パーキング「BLUU Smart Parking」アプリ開発・サービス運用(ソフトバンク株式会社様 株式会社システナ様) / 自社開発サービス ProCommu https://procommu.com はオンラインレッスンやカスタマーサポート等に最適なビデオチャットプラットフォームです。 他、実績はこちら https://pivot.jp/work

本件に関するお問い合わせ先

PIVOT

株式会社 PIVOT 広報担当 大場

TEL 03-5413-3711 FAX 03-5413-3727 Email : oba@pivot.jp